



やまがた

No. 774

令和2年
(2020年)

足裏にある反射区をまんべんなく刺激することで、体の機能を改善したり免疫力をアップさせるといわれるリフレクソロジーの魅力に引き込まれ、プロの歌手から転職したというてるみさん。隠れ家のように安らげる場所になればと、自宅にサロンを開いたそうです。

「今後は、村の福祉施設などで癒しと元気をプレゼント出来るように頑張りたい」と話してくれました。

(10月1日 おうちサロン〜ホイミット・ナエル〜にて)



※表紙の写真は撮影のためマスクを外してもらっています。

働き姿

足の裏から元気は!

佐々木 てるみさん(下大池)

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ（こちらの二次元コードから）でも見ることができます→



告知板

10月31日(土)～11月1日(日)に予定されていた第70回山形村総合文化祭は中止となります…。その代わりに

山形村ちっちな発表会開催のお知らせ

開催期間 令和2年10月31日(土)～11月5日(木)

●展示部門

多くの方が密集しないように展示期間を通常の文化祭期間より延長して、作品を展示します。

開催場所：トレーニングセンター ロビー他

●芸能部門

発表会が開催できないため、事前に収録したものをYCSで放送します。

放送日：11月16日(月)、17日(火)、21日(土)、22日(日)

☆詳しくは、この館報と同時に発行される回覧をご覧ください。

お問い合わせ 山形村公民館 ☎98-3155

トレーニングセンター、ミラ・フード館トイレ改修工事のお知らせ

10月よりトイレ改修工事を来年1月下旬まで順次実施しています。ご利用の方にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【改修箇所】

- トレーニングセンター：研修棟1・2階及び体育館中トイレ
●ミラ・フード館：外トイレ以外のトイレ

【期間中の対応】

施設ごとに工事スケジュールが異なるため、現場の案内を確認の上、ご利用できるトイレをご確認ください。

にゃんでも相談会

9月19日(土)、トレーニンングセンターふるさと大ホールにて動物愛護ボランティア「ねこの会」山田敏子さんによる「にゃんでも相談会」が行われました。飼い主のいない猫がもたらす生活環境被害や苦情対策、繁殖防止についての相談のほか、以前飼育していた猫との死別による飼い主の心のケア、カウンセリングを通して親身に相談者の皆さんに応えていました。

村内をきれいに…

9月27日(日)、村内各地で秋の環境整備が行われました。連絡班ごとに行った作業は、カーブミラーの清掃や側溝・水路の泥さらい、ゴミ拾い、河川の清掃など多岐にわたりました。新型コロナウイルスの影響で春の作業が中止になってしまい、荒れてしまった所もあり手こずった地区もありました。内容は違いますが、参加された多くの方の力により、村がきれいになりました。



村内の風景から

「稲刈り」

9月下旬から、村内のあちこちで稲刈りが行われました。春の田植えから大事に育てられて実ったお米。今年の新米、皆さんはもう食べましたか？

【撮影地…上竹田】



「中秋の名月」

10月1日(木)は中秋の名月でした。あいにくの曇り空でしたが、雲の切れ間から顔を出している綺麗な月を村内からも見ることができました。

【撮影地…下大池】



山すそ

秋。「信州の夏って、こんなに暑かったっけ？」と思つていたのはつい先日のもようであるが、しつかり涼しくなり、朝

晩は肌寒さすら感じる季節になった。海にも行かず火花も見ず、夏らしいことも無いまま夏が終わってしまった。強いて言えば、ビールが美味しかったくらいである。どことなく寂しさを感じる▼あちらこちらから漂ってくる金木犀の香りを楽しみながら、自動販売機で缶コーヒを買う時に温かいものを買うか、それとも冷たいものを買うかで悩むこの季節。私は好きだったりする。自分にとっては、これが秋らしさなのかもしれない▼秋と言えば「読書の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」など、秋と結びつく言葉は他の季節に比べて多いと感じる。それだけ、楽しみ方の多い季節なのではなかろうか▼行動が制限されたり自粛を求められたりしているご時世ではあるが、せつかく四季を豊かに感じられる日本に住んでいるのだから、外に出て秋も存分に満喫したい。「菓ごもり」の巣から抜け出して、紅葉した森の中を歩いてみたいと思う。

図書館からのお知らせ

＊リサイクルブック開催

10月31日(土)～11月5日(木)

今年のちっちゃな発表会に合わせて、図書館前の廊下に本を並べます。図書館の除籍本や、利用者のみなさんからの寄贈本、期限の過ぎた雑誌など、自由に持ち帰りできます。掘り出しモノがあるかも?ぜひご利用ください。

＊夜の図書館でおはなし会

ナイトライブラリーにおでかけください

秋の夜長、今年も「おはなしの会」のみなさんによる、おはなし会を楽しみましょう。小学生から大人までが対象です。

11月12日(木)・20日(金)

両日とも 19:15～20:00

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.49

編集＝山形村図書館

防災クッキングに挑戦 空き缶ごはんに四苦八苦!

9月の防災月間に合わせて、災害時でも役立つ「防災クッキング」の講座を開きました。9月19日(土)トレーニングセンターの北側駐車場で、親子17人が体験しました。当日は風があり、一抹の不安が胸をよぎります。うまくいくかな?ドキドキ……



チャレンジするのは「空き缶でご飯を炊こう」と「ポリ袋で肉じゃがをつくろう」の二つです。まず、ポリ袋に肉じゃがの材料を入れて、大きな鍋で湯せんします。具材をよくもみ、空気を抜いてポリ袋の口をぎゅっと結ぶのがポイント。あとはお鍋に

お任せです。いよいよメインイベント、空き缶でご飯を炊きます。かまど用に穴をあけたアルミの空き缶に、米と水を入れた空き缶をのせ、短冊状に切った牛乳パックを燃料にするのです。あらかじめ実験したところ、25分くらいでホカホカのご飯が炊けたので、きつとうまくいくはずと楽観していたのですが……火の勢いが強すぎて、かまどにした缶がぐにやりと変形したり、上の缶が倒れて米がこぼれたり、火がなかなか燃え続けなかったり、アクシデント続出!

ひゃあ、いったいどうなってしまうのか!?それでも協力して作業すると40分。うまく炊けた人もいれば、芯のあるご飯になった人もいました。成功したグループのご飯を味見させてもらい、肉じゃがと一緒に味わいました。本日の災害時には、気が動転してなかなかうまくいかないことも予想されます。平時にいろいろな試してみることの大切さを痛感しました。



……大成功のグループは、「おうちのより、給食のよりおいしいご飯だった!」そうですよ。

『電波の歴史展』のお知らせ

10/21(水)～11/5(木)

今では、私たちの生活になくてはならない電波ですが、どのようにして発展してきたのでしょうか?世界最初のラジオコンカールから、最新機器まで、珍しい展示物を見ながら電波について学べます。



おすすめ新着本紹介

『しょうぼうしのくまさん』
フイービ・ウォーントン(福音館)

しょうぼうしのくまさんは、ぴかぴかのあかい消防車にのって出動します。木からおりられなくなつたねこを助け、納屋の火を消して……。子どもたちに長く愛されている「くまさん」シリーズの続編ができました。



『おひめさまになったワニ』
ローラ・エイミー・シュリッツ
(福音館書店)

姫の将来を心配する王様とおきさき様が考えた勉強や運動など、コーラ姫の毎日はやらなくてはいけないことだらけ。そんな姫を助けるため、やんちゃなワニが



やってきて……。愉快なワニの活躍で、姫は勇気を出してやりたいことを言葉にします。

『珪藻美術館 ちいさな・ちいさな・ガラスの世界』
奥修(福音館書店)

珪藻(けいそう)はガラスの殻をもつ「藻」の仲間です。その小さな小さなガラスの殻を並べて作る、世界一ちいさく美しい「ガラスアート」ができるまでを描きます。



『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』
山極寿一(家の光協会)

著者は、40年にわたってアフリカのジャングルに分け入り、野生のゴリラと付き合ってきました。世界的ゴリラ研究者が、ゴリラを学ぶことで見えてきた「人間の生き方」について伝えます。



『農のひと』
金井真紀(左右社)

「肥料も農薬もいらん。地球を汚さず儲かる農業じゃ!」農の伝道師・道法正徳はどのような独自の農法にたどり着いたのでしょうか。道法スタイルを実践する生産者たちを訪ねたレポートも紹介します。



やまがた
Yふるさとレンジャー
天然記念物調査 第2弾

9月20日(日)、Yふるさとレンジャー隊員と長野美術専門学校学生が村内4箇所(村指定天然記念物の樹木を巡り、調査を行いました。前回の経験を活かし、積極的に幹まわりの計測やメモを取る小学生レンジャーの姿が印象的でした。また地元の方から各樹木の歴史や昔の風景などを伺い、今まで知らなかった貴重な話を聞く良い機会となりました。



10月2日(金)、運動会が開催されました。前日、天候不良の影響で翌日となったこの日は秋晴れの運動会日和。練習を積み重ねてきた演目やリレーでの真剣な眼差しと輝く汗に我が子の成長を感じる保護者も多かったのではないのでしょうか。運動会終了後にはメダルとトロフィーを手に、みんなで喜びを分かち合っていました。

山形保育園運動会



※山形小学校・やまのこ保育園の運動会の様子は11月号に掲載いたします。

山形小学校6年生修学旅行

9月10日(木)・11日(金)、6年生が修学旅行に行ってきました。コロナ禍の影響で、行き先が東京→三重→県内と二転三転しましたが、「6年生を修学旅行に行かせてあげたい」とたくさんの方に応援していただきながら、感染対策をしたうえで実施できた今年の修学旅行。県内旅行でしたが、魅力がたっぷりあることを感じました。松代大本営や黒部ダムの見学、そして白馬



でのアウトドア体験は、長野県の魅力の新発見につながり、子どもたちにとって最高の修学旅行になりました。



山形小学校交通安全教室

10月5日(月)、秋の交通安全教室が行われました。2年生までは横断歩道の渡り方・信号機の確認、3年生以上の児童は自転車の点検方法や安全な乗り方を確認しました。5・6年生の児童は交通安全協会の指導の下、実際に路上へ出て正しい乗り方を教わっていました。



山形小学校
3年生社会科見学

10月9日(金)、3年生の社会科見学で山形消防署へ行き消防車や消防署内部を見せられました。詳しく説明してくださいる消防隊員のお話に耳を傾けしっかりメモを取って学習していました。

見学中に救急車の緊急出動があり、素早い出動に驚きました。帰りは雨でしたが、往復しっかり歩きました。



こちら
情報局

鉢盛中学校第54回白峰祭



9月24日(木)・25日(金)に鉢盛中学校で第54回白峰祭が開催されました。

コロナ禍の影響で、限られた日程、条件の中、3密を回避するため映像を駆使した開閉祭式などで生徒会が一生懸命計画したプログラムとなりました。

今年の全校制作は、生徒一人一人が切り貼りしたピースをつなぎ合わせた「モザイクアート」で、開閉祭レモニーでステージバックとしてお披露目しました。全校生徒の心を

なぐ素晴らしい作品となりました。体育祭では、学年クラス混合の4つのチームに分かれ、委員の企画による楽しい内容が盛り込まれた多項目リレーを実施しました。

文化部のステージ発表では、今年度発表の機会が限られてしまい、3年生にとっては最後のステージ発表となりましたが、エネルギーあふれる発表に拍手が鳴り止みませんでした。閉祭式ではテーマソング「ハピネス」を合唱し、素晴らしいフィナーレを飾ることができ、テーマ通り一人一人の輝く個性が一つになった、「今年だからこそ」の心に残る素晴らしい文化祭となりました。

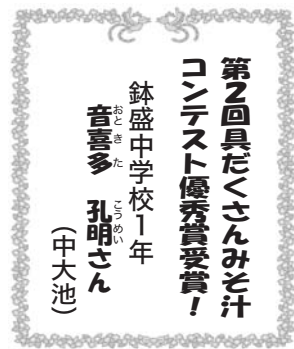


▼ステージ発表



▲体育祭

山



第2回 具たくさんみそ汁コンテスト優秀賞受賞!

鉢盛中学校1年 音喜多孔明さん (中大池)

松本市が開催した第2回具たくさんみそ汁コンテストにおいて鉢盛中学校の音喜多孔明さんが考案した「鮭と長いものピリ辛みそ汁」が子どもの部優秀賞に選ばれました。10月7日(木)に松本市の赤羽教育長が鉢盛中学校に来校し、考案した音喜多さんと、コンテストに応募した1年生が表彰され、学年を代表して日原姫花さん(小坂)が賞状を受け取りました。



10月7日(木)の献立に、音喜多さんのみそ汁が給食となりました。とってもおいしいそう!

～鮭と長いものピリ辛みそ汁のレシピ～

材料 (4人分)		作り方
鮭	220g	①鍋に水を入れ、沸騰させる。 ②えのきを半分に切り、人参はいちょう切り、長いものは半月切りにして鍋に入れる。 ③鮭の切り身を4等分にし、鍋に入れる。 ④小ねぎは小口切りにしておく。 ⑤10分煮て、みそとだし、豆板醤を入れる。 ⑥盛り付けて、小ねぎを乗せたら完成。
長いもの	120g	
人参	70g	
えのき	70g	
小ねぎ	3本	
豆板醤	小さじ1/4	
みそ	32g	
だし汁	600ml	
(かつお顆粒だし)		

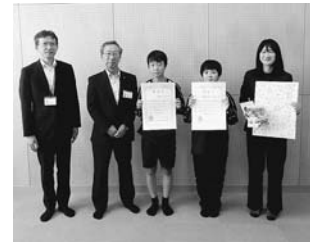
みそ汁を考案した音喜多さんからは、「魚が好きで、魚と山形村特産の長いものを使ったみそ汁を考案してみた。とてもおいしくできてよかった」と話してくれました。

具たくさんみそ汁とは、一杯で「副菜」や「主菜+副菜」がそろえられる、具がたくさん入ったみそ汁です。主食・主菜・副菜が一度にとれるので時間がない時でも簡単に食事のバランスが整えられます。左記にレシピを掲載しますので、皆さんもぜひ、音喜多さん考案のみそ汁を作ってみてはいかがでしょうか。



10月13日(火)、鉢盛中学校2年生の職場体験学習が行われました。例年3日間の日程で実施している職場体験学習ですがコロナ禍の今年は1日のみ体験となりました。体験を通して働くことの大変さや楽しさなどを考える機会となっており、今後の進路の参考になればよいですね。

鉢盛中学校 2年生職場体験学習



中央：みそ汁を考案した音喜多孔明さん、右から2番目：1年生代表の日原姫花さん

清水高原にライブカメラが設置されました

村内はもちろん、松本平を一望できる展望台として親しまれてきた清水高原の展望台。

年、老朽化に伴い取り壊しが行われました。その展望台からの素晴らしい眺めを、インターネットを経由して配信するライブカメラが設置されました。設置されたのは360度の方を撮影できるカメラで、パソコンやスマートフォンには人間の目よりも少し狭い範囲、望遠気味な画像が表示されます。(1分おきの画像となるためリアルタイムではありません) 北は安曇野から南は塩尻まで、遠くの景色から清水寺の入口付近など見渡せます。また、一日に数回、映し出される角度も変わるため、見るたびに違った景色を楽しめるのではないかと思います。

さよと応援寄付金、「いわゆる「ふるさと納税」を活用して設置されました。



▲こんな形のカメラです

なお、このカメラは「ふる

アクセスするには...

スマートフォンの方は下のQRコードを読み取ってください!



パソコンでご覧の方

山形村ライブカメラ 検索



こんな景色が見れるかも...



▲ラーラ松本



▲アイシティ 21



▲松本空港



▲役場周辺

※写真は編集部員が同じ位置から撮影したイメージです。

ひっそりと佇む拝殿。これはこれで敵かな雰囲気ですが...



◀以前の祭りの様子。早くこの賑わいが戻ってきてほしいものです。



関係者で神事のみ執り行われました。祭りの開始と終了を告げる花火こそ上がりましたが、お囃子も太鼓も行き交う話声もなく、とても静かな祭りとなりました。地域の祭りを楽しみにしておられる方も多いと思いますが、来年少しでも安心して祭りが開催されることを祈ります。

建部神社

9月19日(土)・20日(日)

秋祭り特集

コロナ禍の中行われた各地区の秋祭りの様子をお伝えします



小坂諏訪神社

9月19日(土)・20日(日)

お囃子、浦安の舞が中止となり神事のみとなりました。今年新調した神社幟が掲げられ、お囃子とともに地区を回る事が叶わなかった舞殿も神社前にお披露目されていきました。

大池諏訪神社

10月3日(土)・4日(日)

舞殿の曳航や神社での余興が中止となり、神事のみのお祭りとなりました。そんな中、神社前に掲げる中大池地区の大幟が約50年振りに新調され、3日(土)には魂入れの奉製式が執り行われました。



(敬称略)

おめでた(子・親)

- 内川 歩・達也・下竹田
- 上條 叶純・由里香・上竹田
- 千村 楓・清裕・小坂
- 本庄 葉和・大介・下竹田
- 栗津原 凛花・文・下大池
- 小笠原 紡・伊吹・下竹田
- おくやみ
- 中村 義一・93歳・上大池
- 小林 行雄・78歳・小坂
- 清原 松子・94歳・上竹田



村民運動会代替企画

10月10日(土)、トレーニングセンター体育館にて、ソフトバレーボール大会が行われました。新型コロナの影響でさまざまな村内事業が中止になり、村民運動会も例外なく中止と寂しい秋でしたが、準備期間が短い中公民館が企画し、常会や友人同士で6チームが参加できました。久しぶりのスポーツでの交流に、いい汗がかけたととても楽しそうでした。

ソフトバレーボール大会



活き生き塾 活動記録

マレットゴルフ体験
9月8日(火)

秋晴れで絶好のマレットゴルフ日和となった8日は一般の利用者も多く、3密とならないようにコースを譲り合いながらプレーしました。日頃からプレーしている方も多く、コース読みやパットのテクニクが光っていました。



寄せ植え講座

10月1日(木)、BBQハウスで本年度2回目となる寄せ植え講座が行われました。前回に引き続き小林徹さん(小坂)を講師に迎え、寄せ植えを学びました。シクラメンを中心に色とりどりの花を鉢植えに集めて華やかな寄せ植えが完成しました。

今回の講座は国の新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して行わ



れました。参加者の作品は公施設(役場、トレーニングセンターなど)に展示していますので、ぜひご覧ください。

バスハイク9月23日(水)

信濃町にある野尻湖ナウマンゾウ博物館へ行ってきました。1962年から始まった野尻湖発掘は50年以上続けれ、第5時発掘では「月と星」(ナウマンゾウの牙とオオツノジカの角の化石)が発見され全国的に有名になりました。博物館では特別展『野尻湖の水草―変化する野尻湖の環境―』も開催されており、今回のバスハイクでは氷河時代に思いを馳せ、現代の環境保全の大切さを学ぶことができました。



村民そば打ち道場開講



10月12日(月)、道祖神と新そば祭り実行委員会主催の村民そば打ち道場10月コース(全3回)の初回が行われました。参加者はそばを打ったことのない初心者です。初めに山形村観光協会の林和男会長よりそばの説明があり、実演で最初からそば切りまでを見て各自そば打ちスタートです。初めの実演のおかげでどこないう手つきも様になっています。プロには敵わないですが味のある切り方が愛嬌。皆さんとても楽しそうでした。3回目には上達していることでしょう。



絆

KIZUNA

夫婦でパワーストーン アクセサリ制作

まの 眞野 徹さん

かすみ 佳澄さん(下竹田)



神秘的な石と繊細な編み模様

最後に今後について何うと、「メンタルカウンセリングと組み合わせながら、石と心の専門家」として悩んでいる人の役に立てばいいな」と、お二人の思いを教えてくださいました。

眞野徹さん、佳澄さんご夫婦は今年で結婚7年目。出会いのきっかけは、徹さんのバンドステージを佳澄さんが観たことでした。それから8年後に再会したところ、意気投合して今では仲良し夫婦です。そんなお二人の共通の趣味はパワーストーンのアクセサリー作り。もともと佳澄さんが趣味で制作していたのですが、いつしか徹さんが身につける人の波動に合った石を選ぶようになり、石の勉強をしながら世界中のパワーストーンを集めるようになったそうです。

ふるかわ あお 古川 蒼さん

上竹田

高3・さそり座

音と鼓

たいが 荒井 大雅さん

上竹田

小5・ふたご座

将来は
親子3代で



音が違います



犬が好きで、「学校から帰ってくるので、駆け寄ってくるのが凄くかわいい」「たわむれて癒されています」という蒼さん。小さな頃から犬を飼っていて、動物と接することが大好きだそうです。来年4月からはその愛犬とも離れ、東京の理容専門学校に通う予定。美容師・理容師の免許を取得し、家に戻り親子3代で仕事をしたいという明確な夢を持っています。「子ども心も忘れず、どんなことにも全力でチャレンジする大人になりたいです」と力強く語ってくれました。

大雅さんは彌磨太鼓に所属する太鼓奏者です。友達に誘われて小学1年生で入門し、多くの練習やイベント出演に頑張ってきました。「曲を覚えたリリズムを合わせたりするのは大変だけど、大きくて気持ちの良い音が叩けるのでとても楽しいです」と話してくれた大雅さん。現在は映像収録に向けて練習の追い込み中。コロナ禍で時間が限られる中、気持ちを込めて懸命に叩いています。収録した映像は「ちっちゃな発表会」の発表としてYCSで放送予定ですので、ぜひご覧ください。